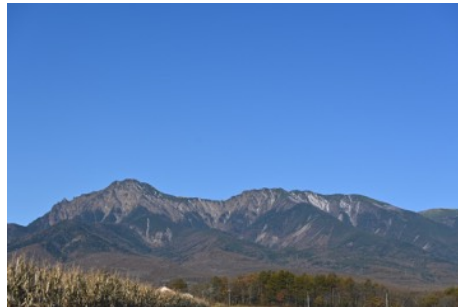
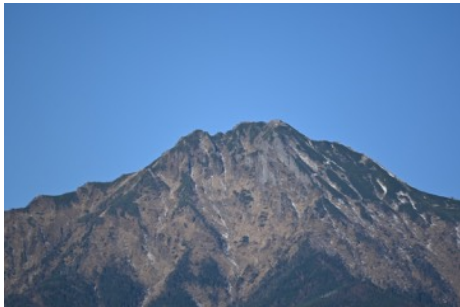


2022ワークキャンプ 13 10/27~28 雨水タンク水質調査、薪の整理と含水率調査、灯油ボイラー設置、木工作業所整理（道具類）、便座設置など

矢島副理事長から訃報が届きましたのでお知らせします。大自然のひろばの創始者帰山祐子氏が亡くなりました。プロテスタントなので91歳「招天」というのでしょうか。葬儀には出席できませんでした。ご冥福をお祈りします。帰山氏の意志を継いで「NPO大自然のひろば」は子どもの野外活動を続けていきます。

10月27日（木）5時に松田を出発、9時山荘に到着。途中、秋晴れで空気が澄んでいて八ヶ岳がくっきり見えて、赤岳山頂小屋まで見えています。畑は霜が降りて真っ白でした。野辺山



の気温は -1°C 。気が引き締まる気温です。

尾方さんは午後から来る予定なので荷物を山荘に入れてから、午前中に雨水タンクの水を水質検査するために佐久市内の水道企業団へ持って行きます。生活用水（トイレ水洗・シャワー・食器洗いなど）として使用する予定なので、飲み水にはしないのですが、検査することにしました。水は植物のタンニンにより、少し茶色く色がついていますが、ゴミもなく透き通っています



毒物や汚染がないか、確認できると安心です。

雨水を水道企業団に提出して、食料と灯油を15L買って山荘に戻ったのは10時ごろでした。薪の整理と運搬を行うことにしてログハウスの薪棚に一番太い薪を運び、ログハウス北側の薪棚にある薪を整理して、含水率を測定したところ、10%前後でとてもよい状態でした。山荘もだいぶ冷えてきたので助かります。



倉庫とホールを建築した残りの屋根材（33枚）と外壁材（6枚と端材）をキャンプ場に登る斜面に置いていましたが、建築も終了したので、倉庫近くに運搬して使いやすいように保管しました。屋根材はこれから建築するキャンプ場の東屋とツリーハウスに使用する予定です。外壁材のガルバリウムは腐食しないのでなるべく探しやすいように広げて斜面に放置しました。



13時ごろ尾方さん到着、前日に湯ノ丸山（2102m）に登ったので午後から作業としたようですが、筋肉痛もなく若いですね！元気いっぱいです。今日は「灯油ボイラー」（設置されていた物）を雨水タンクとつないで、使用できるかテストします。もしも使用できれば、お風呂とシャワー台所に給湯できるようになります。配管は古い倉庫にあった塩ビの部品を集めてつなぎます。宝探しのように部品を探します。配管は複雑です。



灯油タンクをつなげて、給油・通電しましたが結果的に



ボイラーが発火できずにお湯は出ませんでした。次回もう一度挑戦してみます。

夜は冷えてきたので、薪ストーブを焚いて暖まります。薪と焚き付けの鬼ぐるみがあるので寒い夜も安心です。 21時就寝。



10月28日(金) 6時起床 2℃ 室内14℃ 霧のち晴れ

2時ごろ目が覚めて夜空を見ると、星が輝いていました。朝霧が出るので森は静です。寒い朝なので薪ストーブを炊いて、暖まります。レーザー温度計でストーブ内を測定したら、489℃、熱いですよー。



いつも通り、ほうじ茶を飲んでヨーグルトの朝食。8時ごろにキャンプ場まで登ってお散歩。柔らかい朝日が差し込む森の中は葉も色づいてキラキラしています。唐松の葉は雪のように降っています。



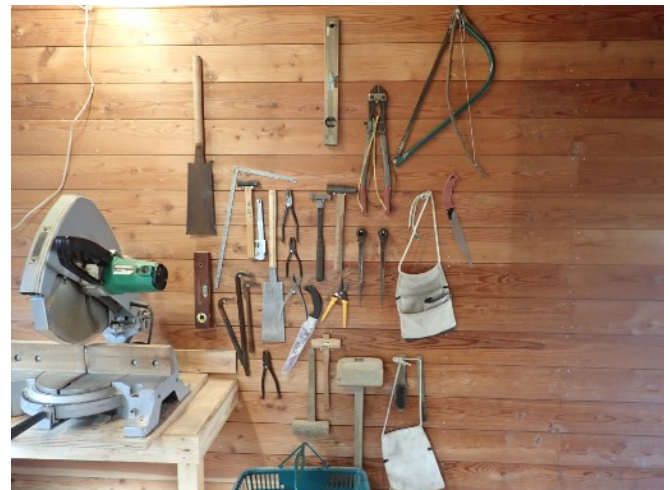
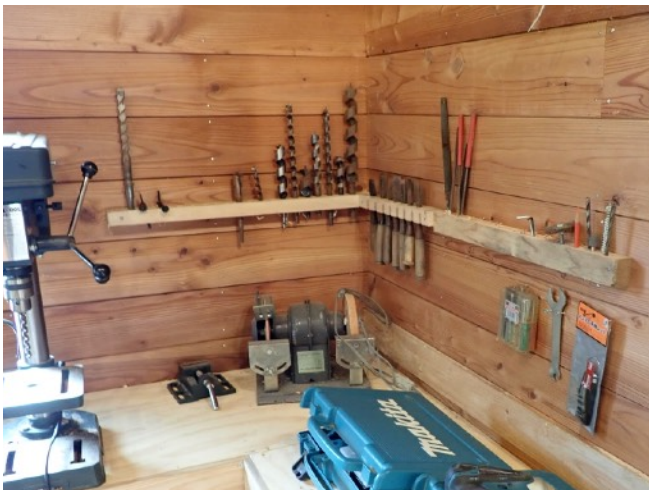
朝の内に細かい作業、ホール台所とログハウスの洗面所にタオル掛けを設置。木工作業小屋とホールにメモボードを設置しました。9時ごろ尾方さんが到着、灯油ボイラー（ログハウスに以前からあった物2004年製 長府）を雨水タンクにつないで送水を行い、灯油タンクなら銅線で燃料を送油。これで、電源が入れば燃焼するはず。電源は入りました。メインのコントローラーも点灯。お湯の蛇口を回せばボイラーは点火するはずでしたがエラーコード「E1」が点灯して燃焼しません。エラーコードの内容を調べたところ、「燃焼しない状態で灯油に水などが入っている場合」となっていたので、ボイラーにつないだ灯油銅管を外して、銅管の灯油を外にこぼして水が入ったと思われる灯油を廃棄しました。もう一度つなぎ直して、最初の作業を繰り返しましたが、ボイラーは燃焼しません。ここで、少し時間をおいてから再挑戦することにしました。次の作業はログハウスのトイレをシャワートイレに交換する作業です。シャワートイレは友人からいただいた物で、まだ新しい。これを「ぼっとんトイレ」と交換します。しかし、便層への穴が大きくて新しいトイレを床にビスで止めることが出来ません。そこで、便器の下に24mm

のベニアを当てて便器をビス止めするように加工する必要があります。ベニアを加工するには「ジグソー」が必用ですが、今日はジグソーを持って来ていませんでした。これも中途半端になってしまいました。準備不足です。ボイラーの点火を再度行いましたが、燃烧しませんでした。



昼食は鶏とキノコのうどん。午後からは「木作業小屋」の道具類を直ぐに見つけられるように壁にぶら下げたり、箱に入っていたドリルビットやドライバー、やすりなどを木で挟むように壁に取り付けて、これで探す手間が省けます。特に小さい道具類も無くさずにすみそうです。木作業小屋もとても使いやすい作業場になりました。

箱に入っていたドリルビットやドライバー、やすりなどを木で挟むように壁に取り付けて、これで探す手間が省けます。特に小さい道具類も無くさずにすみそうです。木作業小屋もとても使いやすい作業場になりました。



宿泊とワークショップなどが出来る「ホール」、木作業の下準備をする「木作業小屋」宿泊出来る「キャビン」ボイラーが動けばお風呂にも入れる「ログハウス」宿泊も出来ます。倉庫は新しい機械やチェーンソーなどを保管できる「倉庫」水回りや野外炊事の用具が置ける「古い倉庫」パイプや木材などを置く「東屋」丸太や薪を置いている「ビニールハウス」そして薪小屋など全てが整いました。キャンプ場も充分活用できるスペースがあります。まだまだ、作りたい物がありますので、皆さまのご協力よろしく申し上げます。そして、ワークキャンプに参加してください。今後の予定は11月4日 来年の下見に美濃からお客様。11月13日～14日ワークキャンプ。23日～25日後半のワークキャンプ。12月10日前後で冬季閉鎖になります。